Business Report

第83期 報告書 2018.4.1▸2019.3.31

日本ピグメント株式会社

証券コード：4119

彩と共に豊かな暮らしへ
日本ピグメント

株主のみなさまへ

取締役社長　加藤 龍巳

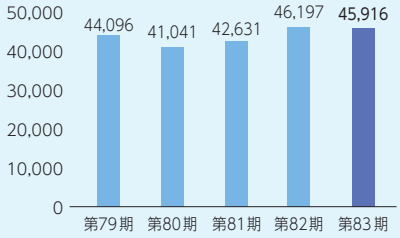
ごあいさつ

株主のみなさまには格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
当社第83期（2018年4月1日から2019年3月31日まで）の「ビジネスレポート」をお届けいたします。
当社グループでは、2016年3月に中期経営計画「Challenge2020」－ボーダレス化への再編と新生へのステップ－を公表し、2020年までの5年間を「次世代の柱を確立し、持続的成長への土台を固める5年」としており、3つの基本方針「①次世代に向けた戦略の舵取り」「②経営基盤の強化」「③ブランド価値向上」を掲げ推進しております。
当社グループは、中期経営計画「Challenge2020」の4年目として、経営基盤を充実させていく所存です。また、2018年12月に埼玉県児玉郡に、液体分散体の新たな生産拠点として埼玉児玉工場が竣工しております。中期経営計画の推進、埼玉児玉工場の本格稼動など、引き続き企業価値向上を図るべく、取り組んで参る所存です。株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

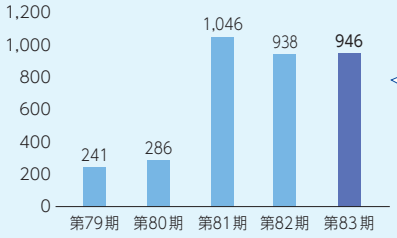
2019年6月

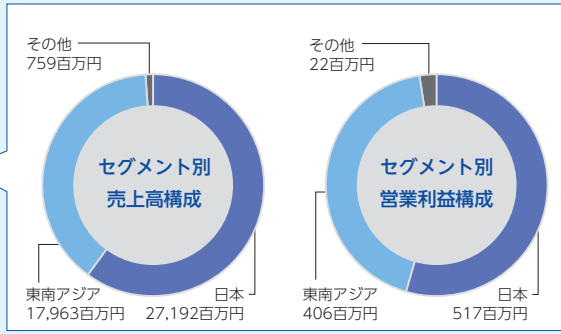
連結業績ハイライト

売上高（百万円）



営業利益（百万円）





第83期の業績

【日本】

国内部門別の概況として樹脂コンパウンド部門は、米中間の貿易摩擦による中国経済の減速の影響により昨年度より牽引してきた自動車産業用途を始め全般的に販売に陰りが見え、秋口以降在庫調整局面に入り、部門営業利益は昨年を下回りました。

樹脂用着色剤部門は、国内自動車向けおよび一部のフィルム関連は堅調に推移しましたが、繊維関連等の伸び悩みの影響を受け、部門営業利益は昨年を下回りました。

加工カラー部門は、建材産業向け等が伸び悩み想定を下回ったほか、中国経済減速の影響も受け部門営業利益は昨年を下回りました。

この結果、当連結会計年度の売上高は271億9千2百万円（前期比3.3%増）、営業利益は5億1千7百万円（前期比13.8%減）となりました。

【東南アジア】

東南アジアは、前期に続き家電産業向けの受注が堅調であったものの、自動車産業向けで伸び悩んだことから全体としては販売減となりました。当連結会計年度の売上高は、179億6千3百万円（前期比6.1%減）となりましたが、販売構成等の影響もあり営業利益は4億6百万円（前期比7.1%増）となりました。

【その他】

その他は、中国での日系自動車関連の受注の回復もあり、当連結会計年度の売上高は7億5千9百万円（前期比3.5%増）となり、営業利益は2千2百万円（前期営業損失4千1百万円）となりました。

【全体】

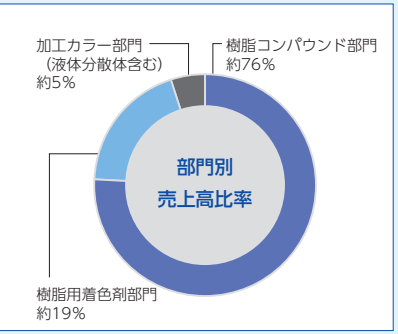
当連結会計年度の当社グループの売上高は459億1千6百万円（前期比0.6%減）、経常利益は8億8千4百万円（前期比19.3%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は5億5千4百万円（前期比18.2%減）となりました。

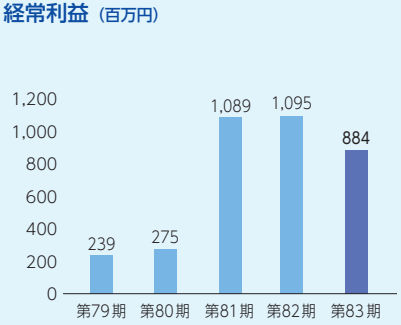
今後の見通し

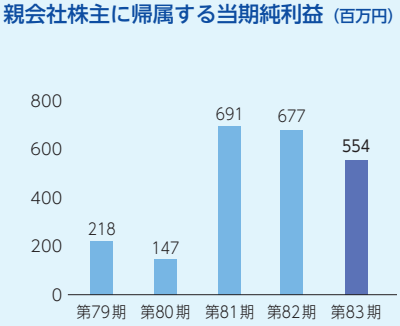
今後の我が国経済の見通しにつきましては、2019年10月に予定されている消費税増税の影響、米中間の貿易摩擦や英国のEU離脱問題等、当面、景気減速の継続が予想されます。このような状況のなか、当社グループは中期経営計画「Challenge2020」の4年目として自社製品の拡販・採算性の改善などに引き続き注力し、2020年3月期の見通しは、売上高は464億円、経常利益は10億4千万円、親会社株主に帰属する当期純利益は5億5千万円を見込んでおります。

2020年3月期の連結業績予想（2019年5月10日公表）

売上高	46,400百万円
営業利益	1,040百万円
経常利益	1,040百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	550百万円
期末配当金（予想）	80円

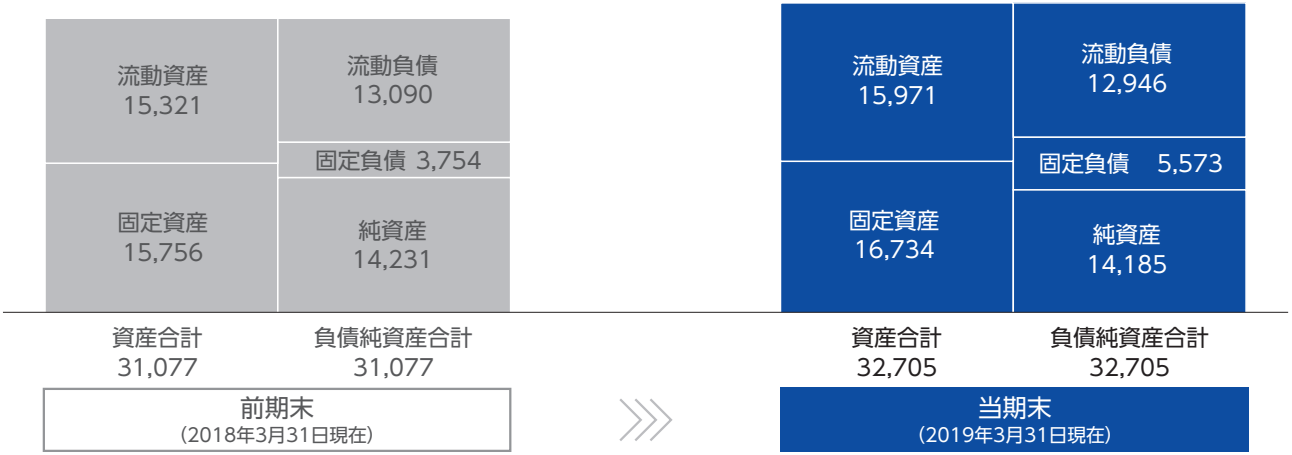






連結財務データ

連結貸借対照表の概要（単位：百万円）



流動資産について

流動資産は159億7千1百万円と前期末の153億2千1百万円に比べ6億4千9百万円の増加となりました。この主な要因は現金及び預金が6億1千8百万円、製品が3億9千2百万円、原材料及び貯蔵品が2億3千7百万円それぞれ増加し、受取手形及び売掛金が5億6千2百万円減少したことなどによるものです。

固定資産について

固定資産は167億3千4百万円と前期末の157億5千6百万円に比べ9億7千7百万円の増加となりました。この主な要因は有形固定資産が11億9千7百万円増加し、投資有価証券が3億9百万円減少したことなどによるものです。

流動負債について

流動負債は129億4千6百万円と前期末の130億9千万円に比べ1億4千4百万円の減少となりました。この主な要因は支払手形及び買掛金が4億8百万円減少し、その他のうち設備関係支払手形が2億9千万円増加したことなどによるものです。

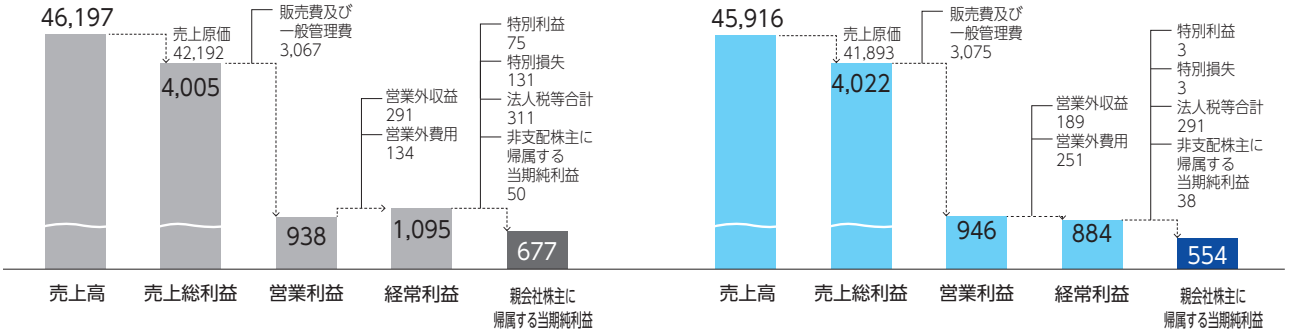
固定負債について

固定負債は55億7千3百万円と前期末の37億5千4百万円に比べ18億1千8百万円の増加となりました。この主な要因は長期借入金が18億5千4百万円増加したことなどによるものです。

純資産について

純資産合計は141億8千5百万円と前期末の142億3千1百万円に比べ4千5百万円の減少となりました。この主な要因は利益剰余金が4億2千8百万円増加し、その他有価証券評価差額金が1億1千6百万円、為替換算調整勘定が2億8千6百万円、非支配株主持分が4千8百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

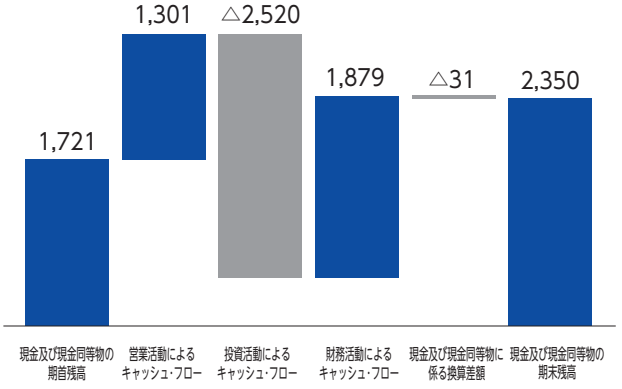
連結損益計算書の概要（単位：百万円）



前連結会計年度
（2017年4月1日～2018年3月31日）

当連結会計年度
（2018年4月1日～2019年3月31日）

連結キャッシュ・フロー計算書の概要（単位：百万円）



当連結会計年度
（2018年4月1日～2019年3月31日）

営業活動による キャッシュ・フローについて

当連結会計年度において営業活動による資金の収入は前期と比べ7千4百万円減少し、13億1百万円となりました。これは、税金等調整前当期純利益の減少などによるものです。

投資活動による キャッシュ・フローについて

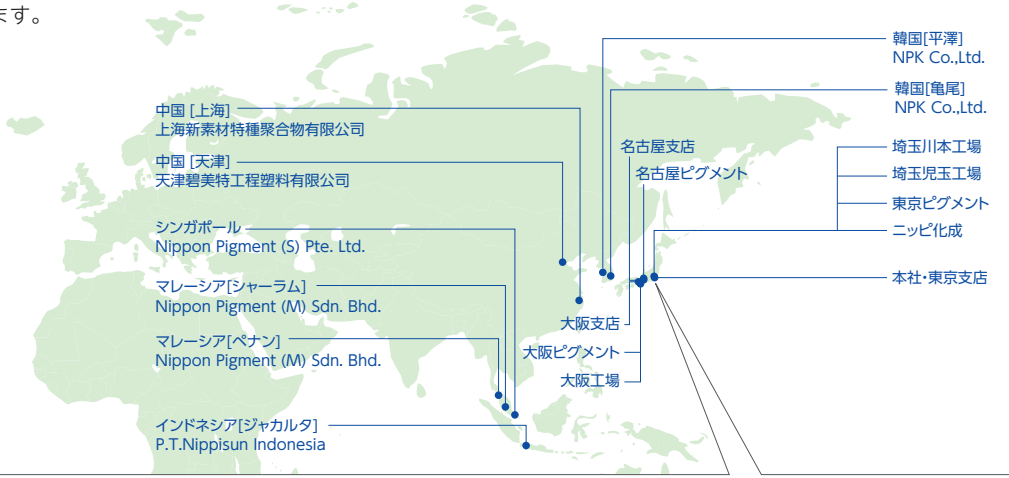
当連結会計年度において投資活動による資金の支出は前期と比べ14億4千5百万円増加し、25億2千万円となりました。これは有形固定資産の取得による支出が13億5千3百万円増加したことなどによるものです。

財務活動による キャッシュ・フローについて

当連結会計年度において財務活動による資金の増加は18億7千9百万円となりました。前期は3億2千万円の減少でした。

グローバルネットワーク

国内10拠点、海外8拠点とグローバルに
展開しています。



埼玉児玉工場について

当社は液体分散体の主に海外での需要拡大に対応するために、埼玉県（児玉郡神川町）に新工場の建設を進めてまいりましたが 2018 年 12 月に埼玉児玉工場を竣工致しました。

埼玉児玉工場で生産される製品は、顔料を溶剤に高分散させたミルベースと呼ばれる液体分散体です。当社の製品は主にディスプレイ部材であるカラーフィルターに使用されております。

住　　所：〒367-0241 埼玉県児玉郡神川町大字元原字豊原200番25

会社の概要

概要（2019年3月31日現在）

会社名	日本ピグメント株式会社 (Nippon Pigment Company Limited)
本社所在地	東京都千代田区神田錦町三丁目20番地
代表者	取締役社長 加藤 龍巳
創業	1925年（大正14年）
事業内容	当社グループは各種樹脂コンパウンド、各種樹脂用着色剤、インキ塗料用着色剤、電子材料用着色剤液体分散体などの製造、販売を行っております。
資本金	14億8,115万円
株式	東京証券取引所市場第二部上場
主要な事業目的	1. 各種樹脂、ゴム、繊維等の着色剤の製造および販売 2. 各種樹脂の加工および販売（樹脂コンパウンド） 3. 各種着色剤の製造および販売 4. 各種インキ、塗料とそれら関連材料の製造および販売

役員ならびに執行役員（2019年6月27日現在）

取締役社長	社長執行役員	加藤　龍巳	経営全般・内部監査室・購買部担当
取締役副社長	副社長執行役員	井手　譲司	経営管理本部・総務部・経理部・海外事業管掌、法務コンプライアンス統括室・品質保証室担当
取締役	執行役員	平岡　正彦	生産本部長、中国事業担当
取締役	執行役員	今井　信一	総務部・経理部・システム部担当
取締役	執行役員	宮本　康弘	営業本部長
取締役	常勤監査等委員	三輪　幸一	
社外取締役	監査等委員	村松　伸一	
社外取締役	監査等委員	鈴木　洋子	
社外取締役	監査等委員	宮崎　達彦（新任）	
上席執行役員		武田　聡	特命担当
執行役員		田中　淳	生産本部副本部長
執行役員		光枝　孝宗	営業本部副本部長兼樹脂コンパウンド統括部長
執行役員		田代　喜一	営業本部副本部長
執行役員		至田　順彦	経営管理本部長兼経営企画部長
執行役員		渡辺　紳司	開発本部長
執行役員		奥本　隆巳	生産本部副本部長兼埼玉川本工場長兼埼玉児玉工場長

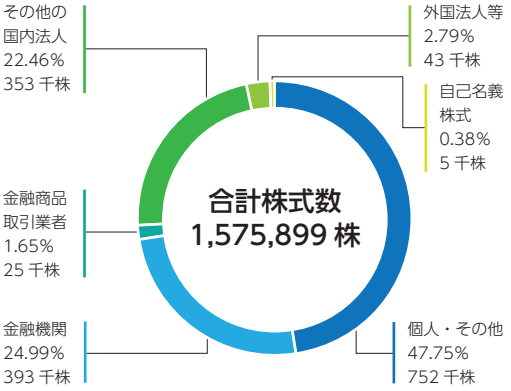
株式の状況（2019年3月31日現在）

(1) 発行可能株式総数	3,000,000株
(2) 発行済株式の総数	1,575,899株
	（うち自己株式 5,942株）
(3) 株主数	1,436名

(4) 大株主（上位10名）

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
日本ピグメント取引先持株会	163	10.39
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	89	5.68
株式会社みずほ銀行	78	4.97
株式会社十六銀行	69	4.45
日本化薬株式会社	51	3.31
東京海上日動火災保険株式会社	49	3.14
株式会社資生堂	49	3.13
三井住友信託銀行株式会社	43	2.79
東レ株式会社	35	2.29
長瀬産業株式会社	32	2.08

所有者別株式分布状況（2019年3月31日現在）



株主メモ

■ 上場証券取引所	東京証券取引所 市場第二部
■ 証券コード	4119
■ 単元株式数	100株
■ 事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
■ 定時株主総会	6月中
■ 基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金　3月31日
■ 株主名簿管理人 および特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
■ 同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1－1 TEL 0120-232-711（通話料無料） （郵送先） 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
■ 単元未満株式買取手数料 および買増手数料	無料
■ 公告掲載方法	電子公告といたします。 当社ホームページアドレス https://www.pigment.co.jp/ （ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、東京都において発行する日本経済新聞に掲載いたします。）

株式に関するお手続きについて

証券会社等でお取引をされている株主様

お手続き お問い合わせ先	お取引のある証券会社等
お手続き・ ご照会の内容	● 住所・氏名等のご変更 ● 単元未満株式の買取・買増請求 ● 配当金の受領方法の指定　等

※未払配当金のお支払いにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部が承ります。

特別口座に記録された株式をご所有の株主様

お手続き お問い合わせ先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1－1 TEL 0120-232-711（通話料無料） （郵送先） 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

※特別口座では、株式の売却はできません。
売却するには、証券会社等に口座を開設したうえで株式の振替手続きが必要となります。
※特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

HPのご案内

詳しいIR情報は当社ホームページにて掲載しています。

https://www.pigment.co.jp/

日本ピグメント株式会社　検索

ＨＰへの
ＱＲコード

Pigment 日本ピグメント株式会社

VEGETABLE OIL INK

UD FONT by MORISAWA